

生きる術が絵

アボリジニアート 世界が注目!

さらしなの里歴史資料館で3月18日、オーストラリアの「アボリジニアート」に関する講演会が開かれました。アボリジニはオーストラリアで狩猟採集をしていた先住民のことで、彼らの描く絵は今、現代アートの一つとして世界的に注目されています。講師はアボリジニアートを日本をはじめ世界に伝えているアボリジニアート・コーディネーターの内田真弓さん。プロジェクトをしながらアボリジニの精神世界などもたっぷり語りました。内田さんを招いた学芸員の翠川泰弘さんが、内田さんの講演などをもとに、アボリジニアートを紹介します。(さらしなの里友の会だより編集委員会)

アートコーディネーター

さらしなの里歴史資料館

内田真弓さん講演、学芸員が紹介

シドニーオリンピックで脚光

オーストラリア大陸は、世界をリードしてきた北半球のユーラシア大陸と隔離されてきた大陸。そこはカンガルーやワラビー、コアラなどの有袋類で代表されるように、孤立してきたが故に進化が5万年前から動かない確かな歴史、伝統、文化が継承されてきた。

その継承者はアボリジニと呼ばれる狩猟採集先住民。彼らの文化は、2000年に行われたシドニーオリンピックの開会式で紹介されたシドニーオリンピックの開会式で紹介された、世界の注目を浴びた。フランス、イタリア、スペインなど、芸術のメッカとされるヨーロッパから一番遠い大陸で生まれたアートである。

内田さんの著書を読み、今回講演をお聞きし、アボリジニのアートは、世界の影響を受けていない、深淵なる歴史の表現だと感じている。彼らに芸術の概念はない。ありきたりの生活に必要なこと、生きていくために必要な情報を伝達する手段として絵を描いているのである。紙が無いので、砂絵やボディペインティ

ングをするしかない。1970年代、オーストラリア政府の指導によって、描く素材がカンバスに変わったただけのことである。

生きるための知識の表現

彼らの絵は抽象画であったり、デフォルメされた動物などの表現である。多くが点描調の筆遣いで描かれている。水の在りかや、在りかまでの行き方、集落の様子や大切な先祖からの言い伝えまで、絵で表現して継承している。地球のへそと呼ばれて有名なエアーズロックや洞窟にはロックアートが残されている。虹の蛇や雷男と呼ばれる実在していない生物が

描かれている。これらは彼らにとつての精霊たちである。

彼らは文字を持たない。生活、生きるための最も重要な知識を、階層的に幾重にも重ねて、洞窟壁画、砂絵、ボディペインティング、歌、物語、儀式のなかで継承してきた。様々な儀式があり、それに参加できる人は選ばれた人であり、参加しないと絵を読解することはできない。内田さんはそうした儀式に参加を許された数少ない日本人だが、絵には生きるうえで重要な知識が記号化されて表現されているという。

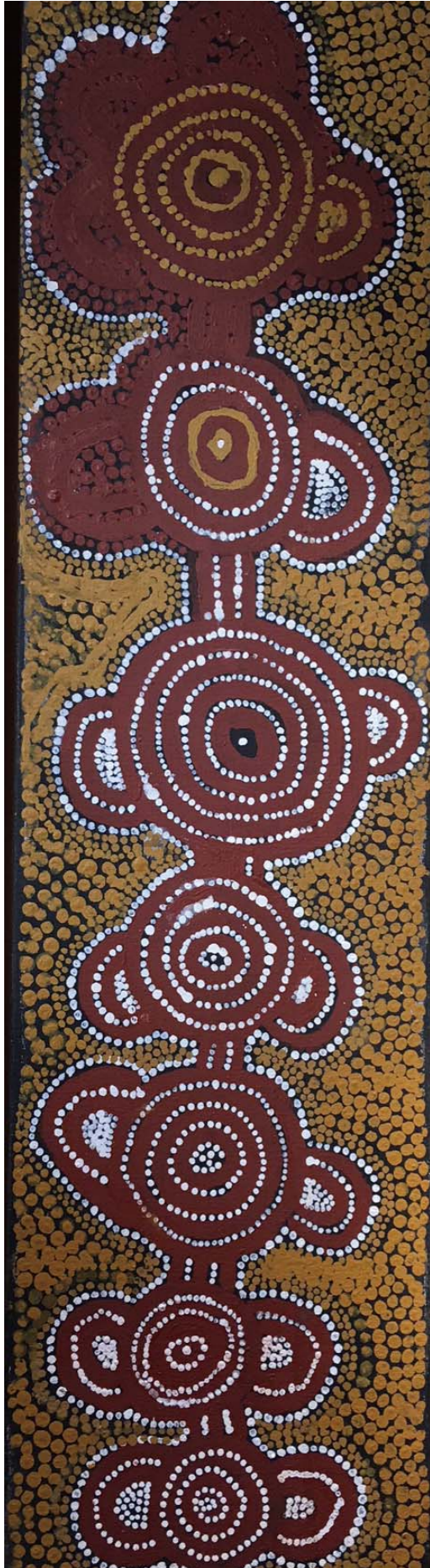
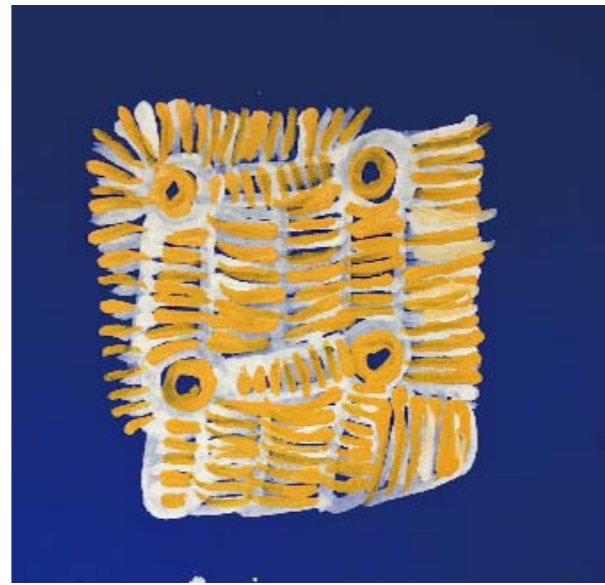
アボリジニにしか発見できない地下の湧水点、大地には生命の創造主が通過したとされるソングラインと呼ばれる場所があり、そこは生命を司る水が湧き出す場所である。彼らはこれを「ドリームタイム」と呼んで伝承しているそうだ。

アボリジニアートとは、生存のための記号化された絵である。これを西洋絵画流に表現するのであれば、芸術が相当するだろう。私たちは、たまたま、芸術という言葉を使って表現しているだけのことであって、彼らは芸術作品を描いているつもりはない。生きる術が絵である。

失った力、過去の記憶に魅了される?

日本でも同じことが言える。大正期、日常的な生活のなかで使われてきた道具や茶碗などの雑器といった日用品のなかにこそ「美」があると民俗学者柳宗悦が提唱し、「民藝運動」がはじまった。日用品の中にこそ装飾を削ぎ落とし究極の機能を突き詰めた「美」があると。だから美しい。これを宗悦は、「機能美」と呼んだ。

宗悦の言葉を借りるならば、アボリジニアートも「機能美」である。そのアートが訴える力が西洋人や私たちを魅了するのは、私たちが失ってしまった力、過去の記憶に触れることができるからだと推察される。深淵なる祖先、大地、自然とも生活していた自分たちからは遠い、遠い、そして生き生きとしていた自分との再会である。



内田真弓さんのプロフィール
前職はキャビンアテンダント。オーストラリアから帰るとき、何気なく立ち寄ったギャラリーショップでアボリジニ絵画に出会ったことが現職の始まり、現代社会に掻き消されていた本当の自分があったと感じた。次の日、彼女はギャラリーショップのカウンターにいた。それから、アボリジニと一緒に生活を共有する日々。かれこれ25年の歳月が流れた。現在オーストラリア政府の協力も得て、アボリジニ絵画の世界各地での展示会、講演などを通じて、アボリジニの文化復興、生活再建に取り組む。著書に「砂漠で見つけた夢 アボリジニに魅せられて」。